



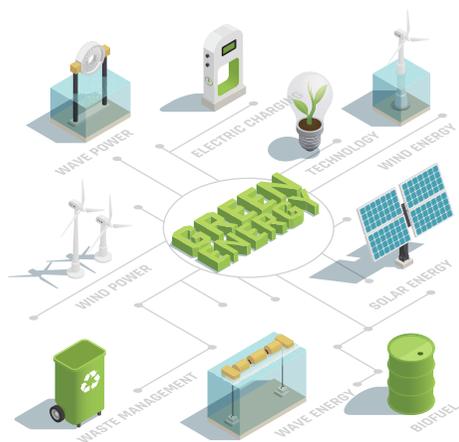
**義務化時代**

# 太陽光発電ソリューション

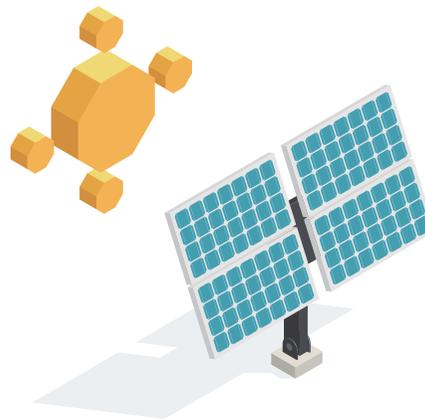
エコソニックが実現する『不可能を可能にする』屋根改修技術

# 2025年2月閣議決定 第7次エネルギー基本計画

第7次エネルギー基本計画では、  
再生可能エネルギーを主力電源と位置づけ、中でも太陽光発電を中心に導入拡大を進める方針です。  
2040年には電源構成の23～29%を太陽光でまかなう想定となっており、再エネ拡大の柱として位置づけられています。  
コスト低下や設置のしやすさから導入余地が大きく、  
安定供給と脱炭素化の実現に向けた中核的な役割を果たすことが期待されています。



再生可能エネルギーを  
主力電源と位置づけ



太陽光発電を中心に  
導入拡大

2040年



電源構成の23～29%を  
太陽光でまかなう想定

# 太陽光パネルの 設置目標義務化へ（経産省）

経済産業省は、化石燃料を多く使用する工場や店舗に対し、屋根に設置する太陽光パネルの導入目標を定めることを義務づける方針を固めました。2026年度から省令を改正し、省エネルギー法に基づく報告制度に新たに太陽光パネル導入目標を追加します。対象となるのは、原油換算で年間1,500キロリットル以上のエネルギーを使用する事業者などで、従来どおりエネルギー使用状況や削減計画の報告に加えて、太陽光導入の目標を示す必要があります。これにより、再生可能エネルギーの普及を後押しし、脱炭素化の実現を目指します。不適切な報告や虚偽があった場合には罰則が適用されます。



工場や店舗の屋根に  
太陽光パネルの設置を

2026年度から設置目標策定を義務づけ

約1万2000の  
事業者が対象



## 屋根設置義務化と

# ペロブスカイト太陽電池への期待

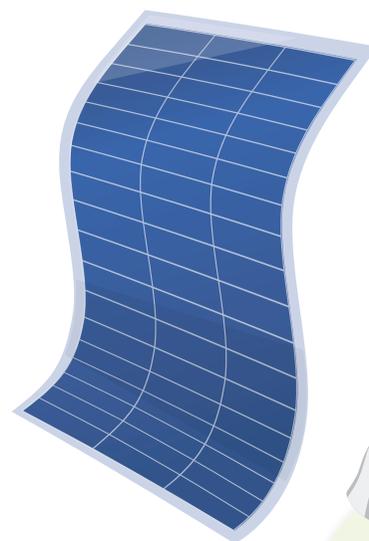
屋根への太陽光パネル設置目標義務化には、耐荷重の制約やスレート屋根・一部の板金屋根など設置が難しいケースが課題となっています。経済産業省は、その解決策として軽量で柔軟なペロブスカイト太陽電池に期待を寄せており、普及拡大の鍵と位置づけています。

### ペロブスカイト太陽電池とは

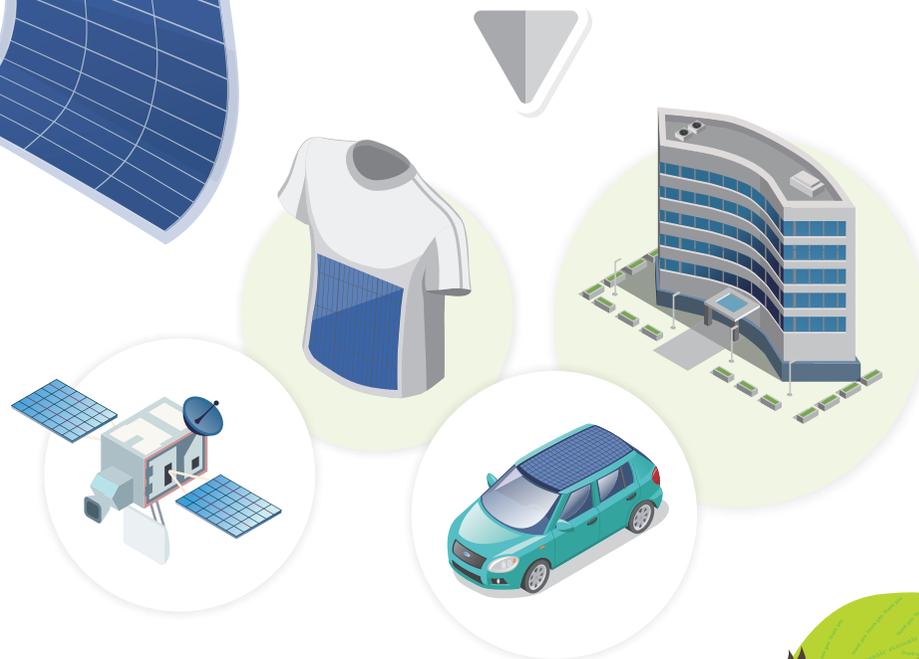
「ペロブスカイト」という鉱物の結晶構造を利用した太陽光電池であり、次世代の太陽光電池として注目されている。

#### メリット

- ・軽量で柔軟な太陽電池が作れる
- ・レアメタルを必要としない
- ・製造コストの低減が期待できる



薄い・軽い・曲げやすいから  
様々な場所へ柔軟に設置可能



## ペロブスカイト 太陽電池の現状

屋根への太陽光パネル設置義務化は再生可能エネルギー拡大の重要施策ですが、従来のシリコン系パネルは重量や耐荷重の制約で、スレート屋根や一部の板金屋根には設置が難しいという課題があります。軽量で柔軟なペロブスカイト太陽電池も注目されていますが、耐久性や量産技術、環境・安全面での課題が多く、まだ本格導入には早い状況であると言われています。政府は研究開発を支援していますが、広範な普及にはさらなる技術革新が必要です。

### 課題

- ・ 耐久性
- ・ 量産技術
- ・ 安全面
- ・ 環境配慮
- など

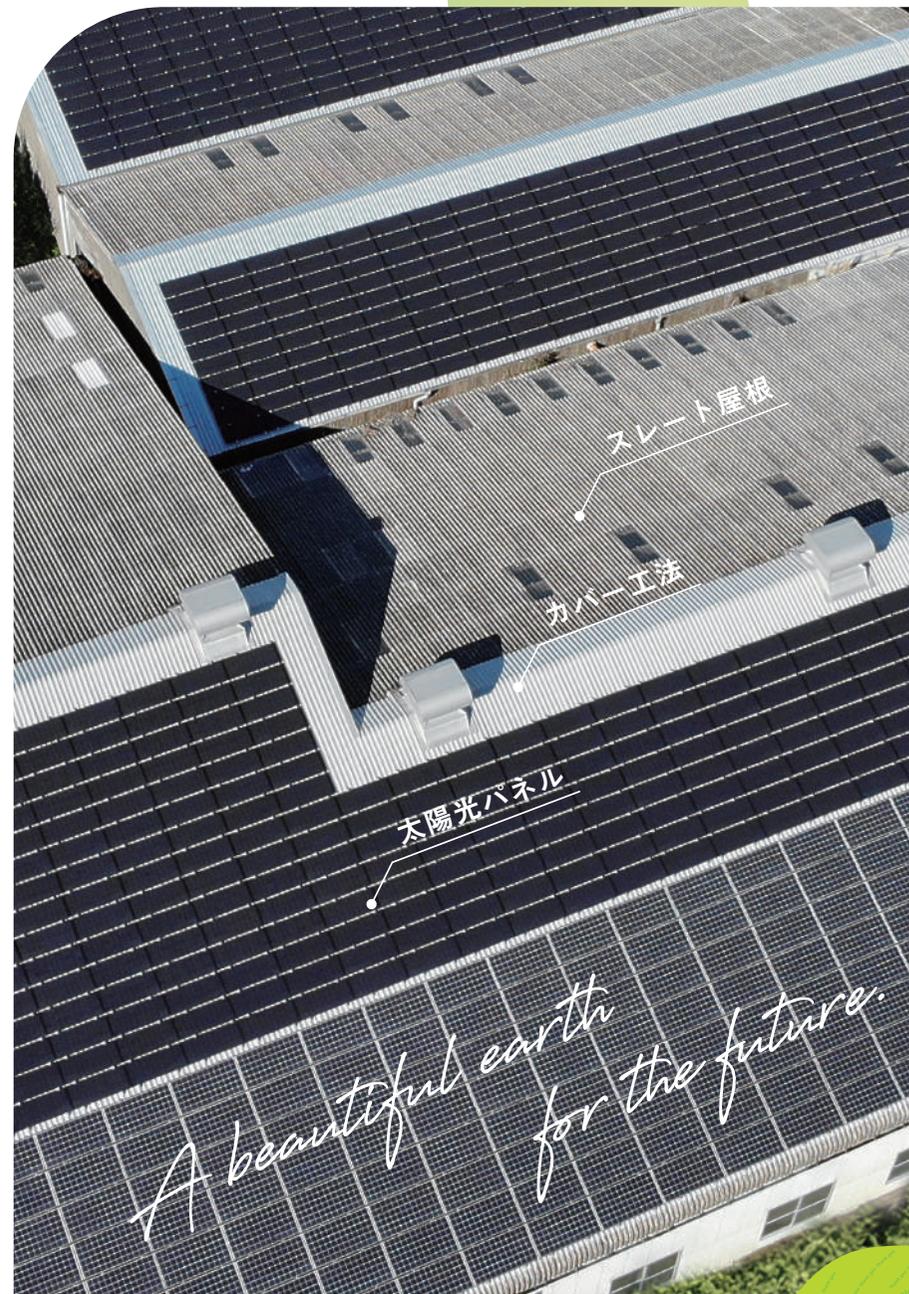
▶ **まだ本格導入には早い状況である**



## 義務化時代の太陽光設置、 まずはエコソニック

屋根への太陽光パネル設置義務化は再エネ普及の重要施策ですが、耐荷重や屋根材の制約で設置が難しい課題があります。次世代のペロブスカイト太陽電池にも期待はありますが、耐久性や量産面でまだ課題が残ります。エコソニックは「不可能を可能にする技術」で、従来設置が難しかった屋根にも安全・効率的にパネルを導入し、義務化対応と再エネ拡大に貢献します。将来はペロブスカイトの活用が進むと見込まれますが、現時点ではまずエコソニックの技術が確実な解決策です。

▶ **エコソニックなら**  
**設置不可能を可能に**



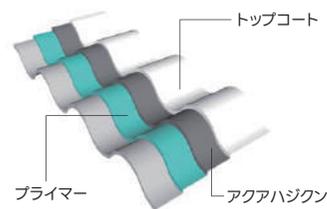
## エコソニックの スレート屋根改修の技術

エコソニックは、老朽化や劣化により太陽光パネルの設置が難しいスレート屋根に対し、独自の技術で改修を行い設置可能にします。工場や大型建築物などの状況に応じて、板金で覆うカバー工法や塗膜による防水工法を柔軟に使い分け、確実な改修を実現します。これにより「設置不可能」を「設置可能」に変えることができ、日本の再生可能エネルギー普及に大きく貢献しています。

▶ **カバー工法や塗膜による防水工法で  
確実な改修を実現！**



### 特殊屋根(スレート)塗膜防水AQ-SC工法



- スレート屋根の防水・補強を兼ねた改修工法です。
- 既設の屋根を撤去しないまま工事が可能なため改修コストを大幅削減し、産廃コストを削減。
- 大抵は室内の物を撤去しないまま工事ができます。
- スプレー工法なので、複雑な形状に下地に対しても防水層を均一に塗布できます。
- 強靱な防水層が長期間にわたり屋根を守ります。
- 遮熱トップコートを併用する事で、夏の昇温を抑制します。
- 雨や風の音を和らげる効果があります。

### 仕様

工程	使用料(kg/m <sup>2</sup> )	備考
1:プライマー	0.2	標準トップ遮熱仕様
2:アクアハジクン	1.6~2.0	防水層厚み1.6~2.0mm
3:トップコート(遮熱)	0.2	

### 穴があいたスレート屋根の改修



### 【スレート屋根への太陽光パネル設置】



◀ 既存のスレート屋根のボルトを活用し、屋根に穴を開けることなく太陽光パネル取付金具を設置いたします。



# 会社紹介

設置不可能を可能に

## Collect “ARIGATO”

感謝の輪で繋ぐ、未来を照らすエネルギー

私たちエコソニックは、お客様の心に響く感謝の連鎖を創造し、持続可能な社会を築くことを使命とします。  
中部電力株式会社とソーラーカーポート事業などで連携。  
多くの自治体に対し脱炭素推進で貢献しております。

会社名	株式会社 エコソニック
代表取締役	後藤 直也
住所	〒505-0055 岐阜県美濃加茂市加茂野町稲辺430-2
創業	1970年
資本金	2,000万円
業務内容	エネルギー事業・総合建設業
建設業許可	特定建設業・電気工事業・建築事務所
関連会社	有限会社後藤板金 合同会社 miroku369 一般社団法人太陽光発電保安協会



太陽光発電



蓄電池



大屋根建築「みちヤネ」



EV（電気自動車）



# まとめ

設置不可能を可能に

## エコソニックの技術が 未来を支える



政府は再生可能エネルギーの主力化を進め、その中でも太陽光発電の導入拡大を大きな柱としています。事業者には屋根への太陽光パネル設置目標の策定が義務化され、実行が求められる一方で、耐荷重制限やスレート屋根など設置が難しいケースが大きな課題となっています。軽量で柔軟なペロブスカイト太陽電池は将来的に有望とされていますが、現段階では耐久性や量産技術の面で課題が残っています。こうした状況の中、エコソニックは独自の屋根改修技術によって「設置不可能」を「設置可能」に変え、義務化対応を可能にするソリューションを提供しています。これにより、日本における再生可能エネルギーの普及と脱炭素社会の実現に大きく貢献することができます。

ご不明な点がございましたら、  
弊社：太陽光担当 後藤までご連絡ください。

電話番号：0574-49-7441 FAX番号：0574-27-7511

Email：ecosonic@collect-arigato.com



